ワーカーズコープ連合会
JAPAN WORKERS' COOPERATIVE UNION

討議セッション　気候変動政策と福祉政策の連携に向けて

ワーカーズコープの実践から考える 環境と福祉のこれからの連携

エネルギー貧困解決のための未来フォーラム



2026年11月9日

ワーカーズコープ連合会 総合企画開発本部

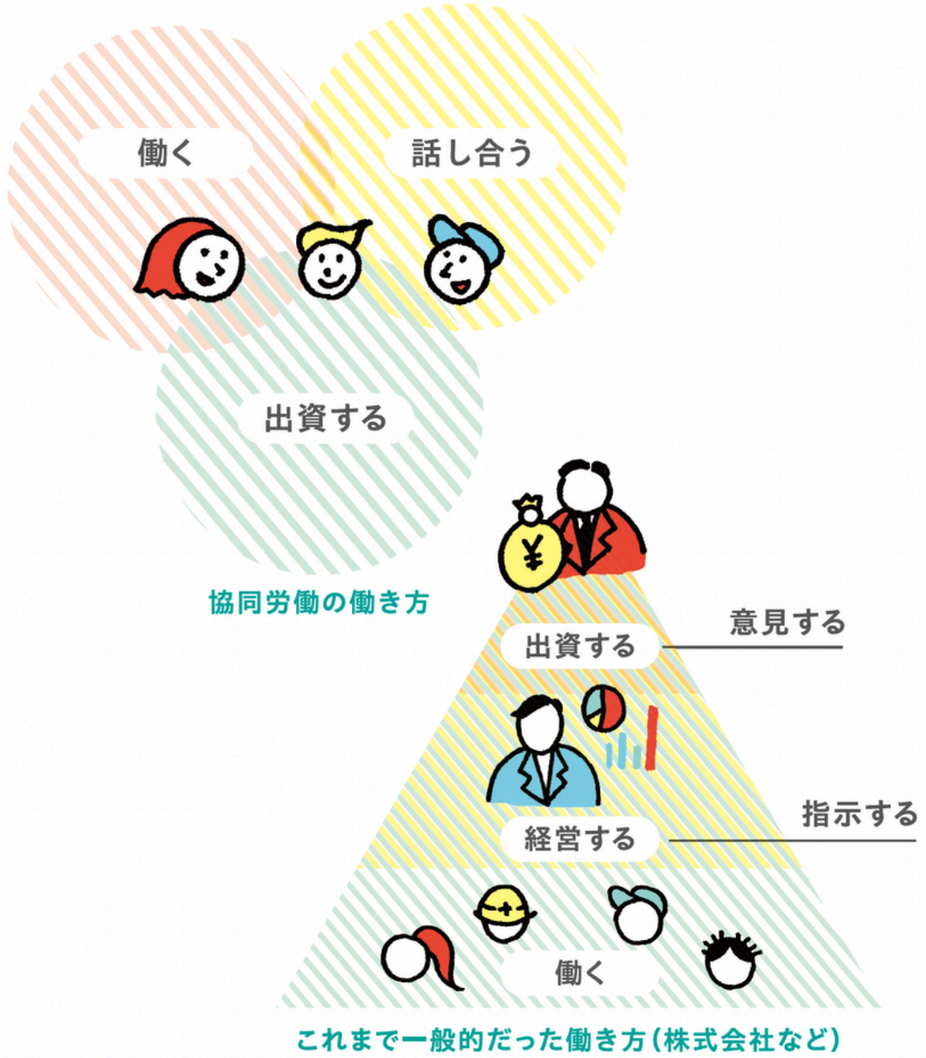
荒井 絵理菜

ワーカーズコープ連合会
JAPAN WORKERS' COOPERATIVE UNION

みんながオーナーで
社長でプレイヤー！
民主的に働く協同組合です。

協同労働は、働くひとが出資し、話し合いながら、主体的に業務に従事する働き方です。その働き方で事業を行うのが「労働者協同組合」。日本で法人化されたのは2022年ですが、40年以上前から各地で地域の課題や福祉などに取り組んできました。国際的には「ワーカーズコープ」といい、150年以上の歴史があります。近年は資本主義に代わる「社会的連帯経済（Social and Solidarity Economy=SSE）」の担い手として、あらためて注目されています。

— 働く価値を、取り戻す。





ワーカーズコープちば

✓ 2017年から相談・同行支援
✓ 2024年に千葉県居住支援法人

居住・生活・就労支援

✓ 困難を抱える方の物件探し・契約をサポート
✓ 居住支援と生活・就労支援の連動



ワーカーズコープ・センター事業団
ふじみ野そらまめ

✓ 太陽光パネルを設置(みん電力)
✓ 古民家の断熱改修

再エネ・断熱改修

✓ 災害時、地域のレジリエンス拠点に
✓ 光熱費の削減（脱炭素）
✓ ADL(生活動作)やQOLが顕著に向上



全国のワーカーズコープ

✓ フードバンク(年間約100t)
✓ 制服バンク(年間約500点)

フードバンク・制服バンク

✓ 合計約210tのCO2削減
✓ 「脱炭素・ごみ削減」が「困窮世帯・子育て世帯の経済的負担軽減」に

制度化 ＝「居住支援×断熱改修」

居住支援法人が関わる空き家・セーフティネット住宅の確保と、断熱改修補助をセットにした公的スキームの創設。

モデルプロジェクトの実施

自治体、環境団体、研究者、事業体が連携し、モデルプロジェクトを実施。居住支援、福祉拠点、地域ネットワークとも連携。

担い手づくり

課題：「簡易断熱や省エネ診断のサポート役が地域に必要」「通常の就労が困難な層の支援が必要」

◎提案：「生活困窮者就労支援・就労継続支援」と連動し、地域の若者や中高年が省エネ診断や簡易断熱施工を担う「協同労働による中間的就労・仕事おこし」を組み合わせられないか。環境・福祉・雇用対策の同時解決が可能。

政策への反映とモデルづくりへ

誰も取り残さない社会に向けて、
立場を越えて知恵を出し合い、
ここから具体的な解決策を共に。